

終活の豆知識

老後の住まいについて

まずは、ご自身の今を
チェックしてみましょう！

右の項目をチェックしてみて、今の環境で生活が続けていくのは難しい状況かもしれないと感じた場合は、生活を支援してもらうサービスを受けながら自宅で暮らす、あるいは、ホームへの入居について検討をはじめめる時期かもしれません。

- ☐ 一日に誰とも会話しない日がある
- ☐ お風呂に入らない日が多い
- ☐ 日々の暮らしに不安を覚える
- ☐ 近隣の方から気遣われることが増えてきた
- ☐ 物の片付け、食事の準備等に支障が出てきた
- ☐ 要介護認定を受け、訪問介護等の居宅サービスを利用している
- ☐ 認知症状が出てきた

(出典：公益社団法人 全国有料老人ホーム協会HPより)

自宅と施設では
介護の費用が違う

ご自宅で介護を受ける場合は、玄関周りのスロープや階段の手すりの設置などリフォームが必要となることが少なくありません。公的介護保険には一定の改修に対して、住宅改修費を支給する制度もありますので、くわしくは市区町村にご確認ください。

老人ホームや介護施設は種類が多く、入居条件等も異なりますので、元気なうちに検討しておくことをおすすめします。

介護費用※は、毎月
どれくらいかかる？

在宅での介護
約**4.8**万円／月

施設での介護
約**12.2**万円／月

※公的介護保険サービスの自己負担額を含みます

(出典：公益財団法人 生命保険文化センター「2021(令和3)年度生命保険に関する全国実態調査」より)

大切な資産を大切な方へ引き継ぐために行う相続対策。
それも「終活」の1つです。

*本紙は2023年8月1日現在の法令・税制等に基づいて作成しています。法令・税制等は今後、変更になる可能性がありますのでご注意ください。詳細および具体的な取扱いについては弁護士・税理士などの専門家にご相談ください。

相続・不動産のご相談は三菱UFJ信託銀行へ

ご相談希望日の**3営業日前まで**にお取引店または最寄りの店舗へご予約ください。

スマートフォンから
ご予約はこちらから



最寄りの店舗を
お探しの場合はこちら

